

ETロボコン2016 イノベーター部門 審査規約 Ver 1.0.1

ETロボコン2016
本部審査委員会



改版履歴



版数	日付	改版内容
1.0.0	2016/4/28	Ver1.0.0. リリース。
1.0.1	2016/7/7	P.5の「2. 審査方式」の記述の一部が、「イノベーター部門競技規約」と異なっていたため、それを競技規約に合わせるよう修正。

目次

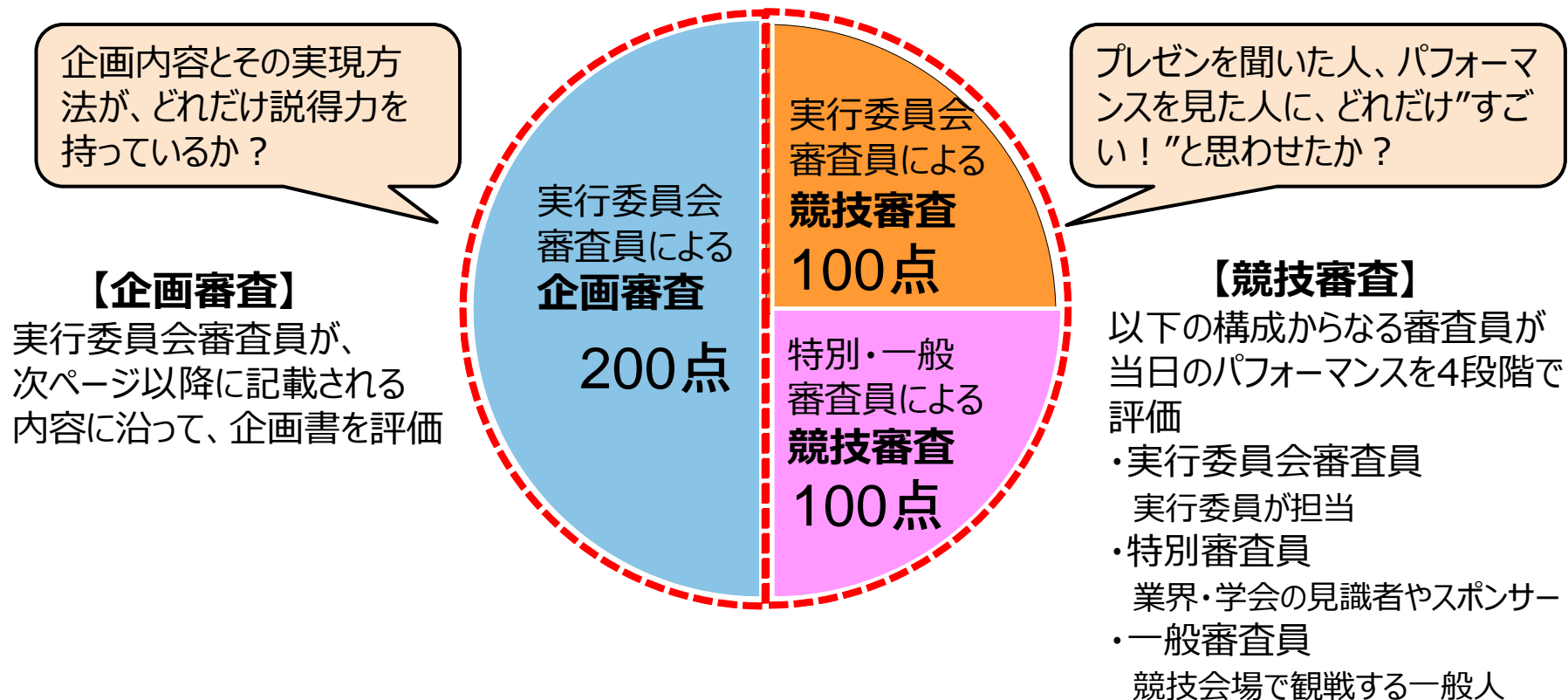
1. 審査方針
2. 審査方式
3. 審査課題
4. 審査内容
5. 企画書記述
6. 留意事項

1. 審査方針

- イノベーター部門のゴールである「15年後にビジネスを作り出せるスキル」を評価するために、アイデア、技術、ビジネス、しくみ、人材といった多様な観点から以下の内容について審査します
 - 『企画内容に対する期待・可能性・面白さと、それを実現するための技術』

2. 審査方式

- イノベーター部門では、「企画書」と「競技」の2つについて審査を行います
 - 本審査規約では、「企画審査」に対する規約を記載しています

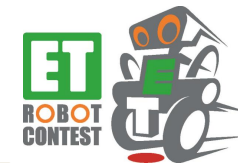


3. 審査課題

- 参加チームは、企画の開発目標となるテーマについて、以下のどちらかから選択し、設定してください
 - 自由テーマ
 - 参加チームにて自由に設定することができます
 - 課題テーマ
 - 実行委員会で設定されたテーマです
 - 今年のテーマ：『15年後に、あると便利な新しいシステム』
 - どちらのテーマを選択しても、評価への影響はありません

- 選択したテーマに対して、以下の項目を検討し、その結果を企画書に記述してください
 - ① 企画の内容
 - テーマを実現するための企画意図や企画内容など
 - ② 企画の実現方法
 - 企画を実現するためのシステムやソフトウェアのアーキテクチャ、そこで使われている要素技術など

4. 審査内容



- 提出された企画書に対し、以下の内容に則って審査を行います

カテゴリ	内容	項目	審査基準
企画内容	テーマを実現するための企画意図や企画内容	有効性	テーマに対して有効な企画内容が提示されているか？
		新規性	企画内容には、新しい技術や独創的な考え方などが含まれているか？
		将来性	企画内容には、将来、発展しそうな見込みのある技術や考え方が含まれているか？
実現方法	企画を実現するためのシステムやソフトウェアのアーキテクチャ、そこで使われている要素技術	アーキテクチャ	企画を実現するためのシステムやソフトウェアの実現可能性
		技術要素	企画を実現するために使われている各種技術の有効性
説明	企画書の分かり易さ	理解性	企画書は、背景・目的から実現方法まで、理解し易いように構成されているか？ 分量は適切か？ 図表は活用できているか？

5. 企画書記述

- 企画書の様式・分量に制約はありません
 - ただし、大会会場での掲示はA3横5枚もしくはA4縦10枚のみに限定されます
 - 企画書もしくはコンセプトシート内に、掲示するページと順序について記述してください
- 企画書を記述する際には、以下に留意してください
 - 企画書では、内容とそれを端的に伝えるまとめ方の両方が重要になります
 - 量が多かったり詳細であったりすることよりも、企画のポイントが容易に把握できるよう簡潔にまとめてください

6. 留意事項



■ 著作権等

- 音楽、アニメ、イラスト、アイコンの利用、シンボル、ワード、キャラクターなどを利用する際は著作権、商標登録に留意し、問題ないことをご確認ください

ETロボコン2016 デベロッパー部門 審査規約

